

護衛艦「たかなみ」配属の新隊員を激励



2人が勤務する護衛艦「たかなみ」

神奈川地方協力本部市ケ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、9月8日（金）、海上自衛隊横須賀基地に停泊中の護衛艦「たかなみ」を訪問し、市ケ尾募集案内所を通じ入隊した曲棍 陽太2士と矢部 一樹2士を激励した。

横須賀教育隊にて教育課程を修業し、勤務を開始して約2週間が過ぎた二人は「艦での生活によりやく慣れてきました」「まだまだ学ぶことが多く大変ですが、頑張っています」と話し、その引き締まった表情は護衛艦乗りの片鱗を感じさせた。広報官と言葉を交わした曲棍2士は「会えて何だかほっとしました」と笑顔を見せた。

また、艦長の筒井2佐は「新隊員はみんな頑張ってくれています」「10月に行なわれる川崎みなと祭りに参加します。よろしくお願いします」と話した。

市ケ尾募集案内所は「今後も後輩自衛官となった彼らをサポートするとともに、護衛艦での勤務内容を知り、実際の魅力を伝え、海上自衛官を目指す志願者を獲得していきたい」としている。

市ケ尾募集案内所は「今後も後輩自衛官となった彼らをサポートするとともに、護衛艦での勤務内容を知り、実際の魅力を伝え、海上自衛官を目指す志願者を獲得していきたい」としている。

横浜市水道局「中村ウォータープラザ防災の集い」において広報を実施

神奈川地方協力本部（本部長 山野 太資一海佐）は、9月23日（土）、横浜市水道局が主催する「第3回中村ウォータープラザ防災の集い」において広報を実施した。この集いは水への備えや防災について考えるきっかけをつくるイベントであり、多くの地域住民らが来場した。

久里浜駐屯地中央野外通信群の支援を受け、1/2tトラック（パジエロ）、3tトラック、野外炊具1号の装備品を展示し、炊事能力や冷凍冷蔵機能を知った来場者は「一台で、揚げ物もできるんですか、食べてみたい」「冷蔵庫もついているんですね」と話し、その機能性に驚いている様子だった。

また、戦闘糧食及び災害派遣写真を展示し、隊員が自身の部隊の仕事内容やエピソードを話すと、興味をもった生徒は「自衛隊にはいろいろな仕事があるんですね」と話し、子供たちは「大人になったら、僕にもできるかな」などと話し親子で展示を楽しんでいる様子だった。

神奈川地本マスコット「はまにゃん」は、機敏な動作でポーズを取りながら会場を練り歩き、子供たちを楽しませていた。

神奈川地本は「今後もイベントに積極的に参加し、より多くの方々に自衛隊をPRしていきたい」としている。



神奈川地本マスコット「はまにゃん」の動く鼻に興味津々の子供たち



子供たちの質問に丁寧に答える広報官



野外炊具1号にて隊員とポーズをとる子供